

## 令和元年（1月～12月）の火災発生状況について

### 1 出火状況

#### (1) 出火件数は5件減少

令和元年（1月～12月）の火災は、74件でした。

構成市ごとにみると、宇部市が51件、山陽小野田市が23件で、平成30年と比べ宇部市は6件減少、山陽小野田市は1件増加しています。

#### (2) 建物火災は全火災の58.1%

火災種別でみると、建物火災が43件と最も多く、次いでその他の火災が18件、車両火災が8件、林野火災が5件でした。

建物火災43件のうち、住宅火災が25件、宇部・小野田コンビナート区域の事業所が7件でした。

### 2 死傷者の状況

火災による死者は0人、負傷者は19人でした。

構成市ごとにみると、宇部市の負傷者は15人、山陽小野田市の負傷者は4人でした。

宇部市の火災による負傷者の火災種別では、建物火災13人、車両火災1人、林野火災1人となっており、山陽小野田市の火災による負傷者の火災種別では、建物火災3人、その他の火災1人となっています。

### 3 出火原因

出火原因別にみると、「たき火」が14件、次いで「たばこ」が6件、「配線器具」が3件でした。

### 4 その他

令和元年（1月～12月）は、「たき火」が原因の火災が多く発生し、3人が負傷しました。たき火による負傷者は毎年のように発生しており、多くは65歳以上の高齢者です。火災を未然に防ぐため、火気を取り扱う際には消火用水や消火器の準備、複数人で実施する等、十分な警戒と注意が必要です。

また、令和元年（1月～12月）の本消防局管内の火災による死者数は、消防組合発足後、初めてとなる0人でしたが、負傷者19人のうち12人は住宅火災で発生、就寝中に負傷した事例もありました。住宅用火災警報器は、就寝中の火災による逃げ遅れを防ぐため宇部・山陽小野田消防組合火災予防条例で「寝室に煙式の住宅用火災警報器を設置」することが義務付けられていますが、本消防局管内の住宅用火災警報器の設置率は64%（令和元年6月時点）と全国設置率（82.3%）、山口県設置率（80.9%）と比べると低い数値となっています。住宅用火災警報器を設置されていない方は、早期に設置してください。

なお、台所は義務設置ではなく、設置を推奨する場所となっていますが、台所に住宅用火災警報器を設置する場合は、誤報を防ぐため、熱式のを推奨します。

宇部・山陽小野田消防組合

令和2年3月23日現在

令和元年(1月～12月)火災発生状況(火災種別ごと)

	建物	車両	林野	航空機	船舶	その他	合計
件数	43	8	5			18	74
死者(人)							0
負傷者(人)	16	1	1			1	19
損害額(千円)	131,144	9,471				150	140,765

焼損面積

建 物		林野(a)	その他(m <sup>2</sup> )
焼損床面積(m <sup>2</sup> )	焼損表面積(m <sup>2</sup> )		
2,449	163	12	3,700

火災原因別火災発生状況

火災原因	建 物	車両	林野	航空機	船舶	その他	合 計	死傷者		損害額(千円)
								死者	負傷者	
たばこ	6						6		2	39,560
こんろ	2						2		2	53
かまど										
風呂かまど	1						1			12
炉										
焼却炉										
ストーブ	2						2		2	8,201
こたつ										
ボイラー										
煙突・煙道										
排気管										
電気機器		1					1			1,060
電気装置	2						2			5,692
電灯・電話等の配線										
内燃機関		1					1			5,471
配線器具	3						3		2	13,204
火あそび	1					1	2			
マッチ・ライター	1					1	2		1	
たき火	2		3			9	14		3	1,388
溶接機・切断機										
灯火										
衝突の火花										
取灰										
火入れ										
放火										
放火の疑い			1			1	2			
その他	12	2				1	15		4	8,490
不明・調査中	11	4	1			5	21		3	57,634
合 計	43	8	5			18	74		19	140,765

# 宇部市

令和2年3月23日現在

## 令和元年(1月～12月)火災発生状況(火災種別ごと)

	建物	車両	林野	航空機	船舶	その他	合計
件数	32	3	4			12	51
死者(人)							0
負傷者(人)	13	1	1				15
損害額(千円)	122,263	206				150	122,619

## 焼損面積

建物		林野(a)	その他(m <sup>2</sup> )
焼損床面積(m <sup>2</sup> )	焼損表面積(m <sup>2</sup> )		
2,107	62	11	2,618

## 火災原因別火災発生状況

火災原因	建物	車両	林野	航空機	船舶	その他	合計	死傷者		損害額(千円)
								死者	負傷者	
たばこ	6						6		2	39,560
こんろ	2						2		2	53
かまど										
風呂かまど	1						1			12
炉										
焼却炉										
ストーブ	2						2		2	8,201
こたつ										
ボイラー										
煙突・煙道										
排気管										
電気機器										
電気装置	2						2			5,692
電灯・電話等の配線										
内燃機関										
配線器具	3						3		2	13,204
火あそび	1					1	2			
マッチ・ライター	1						1		1	
たき火	1		3			6	10		1	876
溶接機・切断機										
灯火										
衝突の火花										
取灰										
火入れ										
放火										
放火の疑い			1			1	2			
その他	7	1				1	9		3	3,649
不明・調査中	6	2				3	11		2	51,372
合計	32	3	4			12	51		15	122,619

## 令和元年(1月～12月)火災発生状況(火災種別ごと)

	建物	車両	林野	航空機	船舶	その他	合計
件数	11	5	1			6	23
死者(人)							0
負傷者(人)	3					1	4
損害額(千円)	8,881	9,265					18,146

## 焼損面積

建 物		林野(a)	その他(m <sup>2</sup> )
焼損床面積(m <sup>2</sup> )	焼損表面積(m <sup>2</sup> )		
342	101	1	1,082

## 火災原因別火災発生状況

火災原因	建 物	車両	林野	航空機	船舶	その他	合 計	死傷者		損害額(千円)
								死者	負傷者	
たばこ										
こんろ										
かまど										
風呂かまど										
炉										
焼却炉										
ストーブ										
こたつ										
ボイラー										
煙突・煙道										
排気管										
電気機器		1					1			1,060
電気装置										
電灯・電話等の配線										
内燃機関		1					1			5,471
配線器具										
火あそび										
マッチ・ライター						1	1			
たき火	1					3	4		2	512
溶接機・切断機										
灯火										
衝突の火花										
取灰										
火入れ										
放火										
放火の疑い										
その他	5	1					6		1	4,841
不明・調査中	5	2	1			2	10		1	6,262
合 計	11	5	1			6	23		4	18,146